

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先： report@r-ict-advisor.jp

報告日 2023年1月23日

派遣決定番号

報告回次 3日目

## 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	信濃町			代表者名	鈴木 文雄
担当者部署	総務課まちづくり企画係			連絡先電話番号	026-255-1007
担当者役職	係長	担当者氏名	小林 義尚	連絡先E-mail	
住所	389-1392 長野県信濃町大字柏原428-2				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	家中 賢作
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようにどこがよかったです等詳細に）	受講した職員へ研修アンケートを取ったところ、25名中22名が面白かったとの回答が得られた。研修テーマがデータトリアージという難しタイトルだったので、ワークショップ形式の研修に慣れていない職員が多く不安があつたが、受講後には、正解のない課題テーマの最適解を対話で創る経験を半日の時間で体験してもらえたことは非常に良かった。また、今後、デジタルデータを整理していく次の展開の布石を残していただけたので、DX推進がしやすい機運の醸成を図ることができた。
アドバイザーへの要望事項	これまで2回の職員向けオープンデータとEBPM研修を開催し、受講した職員の反響が非常に良かったので、次年度も是非、家中さんにアドバイザーを願いしたいです。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	2022年12月20日	講演(実地)	有	2022年12月15日	436
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年1月13日	講演（実地）	12時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	240
3-2.	会場名	信濃町役場	最寄駅	黒姫駅	
派遣場所	所在地	長野県上水内郡信濃町大字柏原428-2	最寄駅からの交通手段	公用車送迎	

### 4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	30 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	庁舎内全体として、デジタル活用による業務改革への心理的ハードルが高いため、DXについての理解と機運の醸成を図る段階である	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	幹部職員から一般職員まで「なぜDXに取り組む必要があるのか」「オープンデータを活用したEBPMの重要性が求められているのか」など、行政DXについて一人でも多くの職員が自分事として考えてもらえるような機運の醸成を図る。また次年度の前期までには実効性のある全体計画が策定できるよう取り組む	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	中堅職員を対象にデータトリアージをテーマにしたワークショップ形式の研修会を開催した。前半は、前回研修の振り返りとデータ利活用するための庁内流通させるデータをリスクを押さえて流通させる「データスペクトラム」の概念を説明。中盤は、6グループに別れて、実在する5つのデータ（住民基本台帳など）をどこまで流用させるかグループワークでトリアージ。後半は、グループ発表と別グループからの質疑を行い、参加者全員でテーマに対する課題を深掘り。まとめは、データ利活用には、庁内にあるデジタルデータの整理が必要と説明。	
支援を受け改善又は解決された内容	前回のデータ利活用とEBPMが求められることから、個人情報保護法の趣旨や目的としてのデータ流通の其の上データトリアージの概念を実際の業務オペレーションに反映させた	

(具体的にご記入下さい)	取り扱う業務がオープンデータとして活用できるものか、府内流通までしかできないものなのか、日常業務の中で問い合わせ持てるきっかけとなった。また、オープンデータ化することが、社会経済に対して効果があるだけでなく、自らの業務を軽減することにつながることを知れたことで、今後のオープンデータ化に向けた。データ整理作業に取り組む機運の醸成が図れた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑤組織業務改善ができた	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	自治体DX全体手順書のSTEP1を今年度の目標としていたので、機運の醸成について十分達成することができた。そこで今後は、具体的にデジタルデータ整理作業や個人情報のデータトリアージのルールの整理をSTEP1の全体方針の中で取り組む	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果別添のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	DXをキーにサービスデザイン思考による職員のマインドセットがなされ、日常的に業務のPDCAサイクルを行いながら変革し続ける組織となること。また、デジ田交付金を活用した政策立案が、DX推進担当だけでなく、各業務担当毎に提案できる組織となること。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。

なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



グループワーク				
データ名	データ概要	個人ワーク結果提出欄	グループ検討結果	相談・検討内容
住民基本台帳データ	住民基本台帳法に基づき、氏名、生年月日、性別、住所などを記載されたもの	府内限差 府内限差 府内限差 背景用紙	府内限差	個人情報を利用し、本人同意を得ていないため、請求による開示は不適切である。 個人情報を利用し、開示依頼は不適切である。 個人情報を利用し、開示依頼は不適切である。 個人情報を利用し、開示依頼は不適切である。
地図データ	市内全域の大学、学、地番及び境界線が記載された図面	A-13-1 オーバーライ オーバーライ オーバーライ オーバーライ	青一色	地図上において登記付地図情報をあり、誰でも閲覧してもらわざるを得ない。
避難行動要支援者名簿	要支援者リスト(氏名・住所・年齢・緊急連絡先等)	背景用紙 府内限差 府内限差 府内限差	背景用紙	個人情報に即して本人情報を開示し得ない限り、開示依頼は不適切である。 個人情報に即して本人情報を開示し得ない限り、開示依頼は不適切である。
航空写真画像データ	市内全域を航空撮影した写真画像(固定資産税を使うもの)	A-13-1 オーバーライ オーバーライ オーバーライ	オーバーライ オーバーライ	人物が把握しにくい高層ビルの撮影であれば、肖像権も侵害しうるので、可能ならしない。
つくば市農業委員会委員 員名簿	つくば市農業委員会委員の名簿	A-13-1 オーバーライ 府内限差 オーバーライ	オーバーライ オーバーライ 背景用紙	地区の担当であるから、担当地区及び公民名は、オーバーライと等しい。 その他、住所等の情報が必要と認められる場合には、情報公開申請にかかる。

